

## II-6 外国人の人権問題

### 1 目的

私たちの暮らしの中で外国人と接する機会は増え、国際化はとても身近なこととなりました。しかし、言葉の問題や文化・生活習慣の違いなど様々な課題を抱えながら生活している外国人も少なくありません。ここでは、外国人との今までの出会いや経験を通して、共に生きる社会の実現に向けて、地域でできることについて考えてみましょう。

### 2 進め方（ワークシート活用例）

ワーク	進め方とファシリテーターの視点
I	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料①、②を参考にして、滋賀県に住んでいる外国人の人数や特徴について考えましょう。</li> <li>★視点1                     <ul style="list-style-type: none"> <li>平成2年(1990年)、法律改正により日系人とその家族に定住者の在留資格が認められ、南米国籍の日系人を中心に外国人登録者数が増加しました。</li> <li>また、中国をはじめとするアジアの国々からの外国人研修生・技能実習制度による滞在者や国際結婚などによる日本人の配偶者なども増えてきています。</li> <li>平成20年(2008年)秋以降の経済危機により、製造業の現場で就労していた多くの外国人住民が失業し、帰国などにより外国人の人口は減少傾向が続いています。</li> </ul> </li> <li>★視点2                     <ul style="list-style-type: none"> <li>韓国・朝鮮の人々に対して、日本の植民地政策によって生み出された偏見が根強く存在し、様々な差別となって現れています。韓国・朝鮮の人々が日本で暮らす歴史的背景を理解し、多様な文化や習慣を尊重しながら共生していくことが大切です。</li> </ul> </li> </ul>
II	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 外国人との出会いや日常的な関わりについて聞いてみましょう。</li> <li>★視点3                     <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人住民との日常的なふれあいや交流会などの成功例、またトラブルなどの失敗例などを出し合い、ワークⅢ「語り合えること」に話をつなげます。</li> </ul> </li> <li>2 あなたの地域が、外国人にとって住みやすいところになっているか、資料③のような課題があることに留意して、考えてみましょう。</li> <li>★視点4                     <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人の課題は、同時に地域の課題でもあります。ともに地域で暮らすための課題について出し合ってみましょう。</li> </ul> </li> </ul>
III	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で共に暮らすために、どのようなことが必要か語り合きましょう。</li> <li>★視点5                     <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の現状や将来を考えながら、文化の「ちがいを尊重し合い、「ちがいをいかして、みんなが暮らしやすい地域にするために何ができるか出し合いましょう。</li> </ul> </li> </ul>

### 3 より深く学ぶために（資料）

「滋賀県多文化共生推進プラン」（滋賀県観光交流局国際室）

<http://www.pref.shiga.lg.jp/b/kokusai/tabunka/plan/tabunkaplan.html>